

It turned out [that the techniques [^I had learned / as a boy / in reading body language, / through my experience in selling sponges and magazines], / were **directly** related to the success [^I could have in any situation <involving people>]].

Reading body language is a skill [that can be learned] / because in any culture, / words and body **movements** **occur** together / in highly predictable **patterns**.

内容Check!

問 次の各文が正しければ()に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

- The writer succeeded in the life insurance business thanks to his ability to understand foreign languages. ()
- According to researchers, when we communicate feelings, we always use words. ()
- Words can be substituted by body language in some cases. ()

覚えておきたい表現

無生物主語+earned O₁ O₂ [(無生物主語)のおかげで O₁ は O₂ を稼いだ]

ℓ.1 : **My ability** to read people's body language **earned** me enough money to buy my first house. 「人の身体言語が読める私の能力が、最初の自分の家を購入するのに十分なお金を私にもたらしてくれた [人の身体言語を読み取るという能力のおかげで、私は初めての家を購入するほどの金を稼いだ]。』

・My ability (無生物主語) earned me enough money 「私の能力が私に十分なお金をもたらした [稼がせた] ⇒ 「その能力のおかげで十分なお金を稼いだ」：無生物が主語の時は、主語の部分で「～のせいで [おかげで；なので]」と、副詞句のように訳すと自然な日本語になる。

Ex. **Her ability** to tell fortunes with cards **earned** her worldwide fame. 「カード占いの能力のおかげで彼女は世界的に有名になった。」

It turns out that ... 「…であるとわかる」

ℓ.6 : **It turned out that** the techniques I had learned as a boy in reading body language, through my experience in selling sponges and magazines, were directly related to the success I could have in any situation involving people. 「少年の頃に、スポンジや雑誌の販売経験を通じて、身体言語を読むことにおいて私が身に付けた技術が、人が関わるどんな状況でも私が手にすることができた成功に、直接結びついているということがわかった。」

・It turns out that ... 「…であるとわかる」：It は形式主語、真の主語は that 以下。turn out は形式主語構文をとらない場合は、turn out (to be) C 「結局 C になる；C だとわかる」として用いられる。

Ex. **It turned out that** the concert had been cancelled. 「そのコンサートは中止になったとわかった。」

整理しよう！ *段落要旨・構造*

① 身体言語が読めることによる成功体験

- ・10代の頃、雑誌販売の仕事で、家を買うお金を稼ぐことができた。
 - ・20歳で保険の業界に入り、会社でトップの成績をあげた。
- (結論) 子供の頃に学んだ身体言語を読むテクニックは、人間相手の仕事全般に通用する。

② 身体言語の研究

- ・言葉は情報の伝達に使われる。
- ◆ ℓ.11 **while** 「一方で：対比」
- ・身体言語は気持ちを伝える。
- ◆ ℓ.12 **however** 「しかし：逆接」
- ・場合によっては身体言語が言葉の代わりになる。
- ・身体言語を読む技術は習得できる。
- ◆ ℓ.15 **Thus** 「したがって：結果・結論」
- ・熟練した人は言葉を聞けば、相手を見なくても体の動きを想像できる。
- ◆ ℓ.18 **also** 「また：列挙・追加」
- ・体の動きだけでどこの国の人か当てることができる。

背景知識

●国ごとの身振りの違い

しぐさから出身国がわかることがある。例えば、イタリア人、フランス人、イギリス人の違いを見てみよう。身振りを多用する国民はイタリア人とフランス人である。このうちイタリア人は四肢を自由に使うのに対し、フランス人は手や前腕(ひじから手首)は多く使って二の腕はそれほど動かさない。したがって、フランス人のしぐさはイタリア人ほど大きくなることはないと言われる。一方、イギリス人は表情があまり豊かでなく、身振りもほとんど使わない。会話の最中に動かすとすれば、手をどう処理したらよいかわからずに動かすだけであるとも言われている。ピーター・コレットは、このようにイギリス人が身振りを感情表現の手段として用いないのは、話の筋道を立ててしゃべるためではないかと分析している。

【深めたい人に】：ピーター・コレット著、高橋健次訳『ヨーロッパ人の奇妙なしぐさ』(草思社、1996年)